

「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町 2-1
TEL.046-824-3435
046-821-1301
FAX.046-827-0264



ご近所ではじめる 地域福祉活動

見守り + 緊急連絡先が わかるように

ひとり暮らしや日中独居の高齢者が倒れているのを、ご近所の方や、民生委員・児童委員、社会福祉推進委員が発見しても、ご家族等の連絡先がわからないといったことが多くあります。

ご近所同士での見守りとあわせ、緊急連絡先がわかるようにしておくことも大切です。

年末年始に、ご家族、ご近所と確認してみたいかがでしょうか？



共同募金へのご協力 ありがとうございました

10月1日 ▶ 12月31日

共同募金は、“たすけあい”の精神に支えられています

共同募金活動に携わってくださった方々、寄付をしてくださった方々、皆さまの“たすけあいの気持ち”をありがとうございました。

お寄せいただいた寄付金は、神奈川県共同募金会を通じて横須賀市内をはじめとする県下の社会福祉施設、地区社会福祉協議会（市内18地区）による福祉活動、災害時のボランティア活動等のための財源として大切に活用させていただきます。

※募金結果は平成31年4月・7月号でご報告いたします



地区社会福祉協議会による福祉活動例

- ・ふれあい・いきいきサロン
- ・子育てサロン
- ・ひとり暮らし高齢者会食会
- ・地域交流会 ・広報紙発行
- ・福祉啓発講演会 など



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。

赤い羽根共同募金は 被災地の災害時ボランティアセンターを支えます

赤い羽根共同募金では災害時のために、その年の募金額の3%を上限に「災害等準備金」を積み立てています。「災害等準備金」は、被災地での炊き出しや生活必需品の給付、健康や生活相談、被災世帯・者の安否確認を行う災害ボランティア活動や災害ボランティアの活動拠点となる災害時ボランティアセンターの経費として活用されます。

災害時ボランティアセンターとは?

災害時ボランティアセンターとは、地震などの災害時に、被災地の支援ニーズの把握・整理とともに、“支援を必要とする人”と“ボランティア活動を行う人”をつなぎ、調整する機関です。



災害ボランティア 一日の流れ

- ① 受付
ボランティア活動の受付、ボランティア活動保険(天災タイプ)への加入確認
- ② オリエンテーション
体調、服装や持ち物の確認。無理をしない活動などボランティア活動の注意点の確認
- ③ ボランティア活動の決定
被災された方々からの要望に対して支援に必要なボランティア活動者が割り振られ派遣先へ向かいます。
- ④ ボランティア活動
依頼場所に移動し、被災された方々の要望に合わせて、復旧・復興に関する活動を行います。
- ⑤ 活動報告
活動が終了したら、ボランティアセンターに戻り活動の報告をします。その日に終わらなかった活動は、翌日以降もボランティアが引き継ぎ活動します。

横須賀市災害時ボランティアセンターは、 市社協が、横須賀市・市民と協力して設置・運営します!

地震などにより横須賀市が大きな災害を受けたときには、全国から多数のボランティアが集まることが想定されます。

市社協では、災害時に集まるボランティアがよりスムーズに、効果的に活動ができるように、横須賀市と「災害時における災害時ボランティアセンターの設置等に関する協定」を結んでおり、必要時には、横須賀市災害対策本部の要請により、総合福祉会館に災害時ボランティアセンターを設置します。

災害時ボランティアセンターを設置・運営するための資機材の調達費用は、共同募金会の「災害等準備金」へ助成申請を行います。

横須賀市災害時ボランティアセンター設置運営訓練の様子



東日本大震災では、東北被災3県を中心に「災害等準備金」により約150ヶ所の災害ボランティアセンターに対して活動資金の助成が行われ、現在も被災地での地域福祉活動への助成を通じて息の長い被災者支援を続けています。

釜石市災害ボランティアセンター(岩手県釜石市)

津波が防波堤を乗り越えて間もなく、大きな音とともに釜石市社協の事務所玄関に黒い濁流が押し寄せ、1分もかからずに1階の天井付近に達しました。

災害発生から3日後、釜石市社協が中心となり、市役所の一室を借りて災害ボランティアセンターを立ち上げましたが、数多くのボランティアを受け入れるには手狭だったため、別途プレハブを設置しました。釜石市災害ボランティアセンターには、「災害等準備金」から2,700万円が助成され、プレハブの賃貸費、車両リース料、ボランティア活動用品費などにあてられました。

あなたのまちの地区社協

～シリーズ第2回～

長井地区社協

住んでよかった 街づくりを目指して

長井地区社会福祉協議会 会長 原 忠

活動内容

長井地区社会福祉協議会は、町内会・自治会、社会福祉推進委員、民生委員児童委員、福祉施設・関係機関、学校PTA、婦人会、消防団、行政センター等、地域の様々なメンバーで役員が構成されています。

長井地区社協の活動は、住民の交流の場である「子育てサロン」、「ふれあいいきいきサロン」、「ふれあい昼食会」を始め、ひとり親世帯、高齢者、障害のある方への安否確認を目的とした「年末慰問品の配布」、サニーヒル横須賀の入浴施設を借りて行う、「高齢者入浴サービス」があります。高齢者入浴サービスでは、地区ボランティアセンターの相談員が交代で番台となり、入浴に訪れた皆さんのお世話をします。

ふれあい昼食会

ふれあい昼食会は、皆で楽しく食事をする機会をつくることによって、一人暮らしの高齢者が外に出て、地域で交流することを目的に行っている、長井地区で35年続いている事業です。

お声かけは民生委員児童委員が行っており、昼食会で出される手作りの食事は、長井婦人会が調理し、参加者の楽しみの一つとなっています。

「お話ししながら美味しいご飯を食べるのが毎回楽しみなの」というお声をいただいております。この昼食会で出会って、仲良くなり、地域のサロンに参加するようになった方もいます。

ふれあい昼食会で、みんなで会食することにより、参加された方が「一緒に食べる楽しみ」や「美味しく食べる」を感じ、長井でいつまでも元気でいきいきとした暮らしを送っていただくことを願っています。

●ふれあい昼食会の様子●



<市社協からのコメント>

平成30年10月25日のふれあい昼食会におじゃましました。この日は70名を超える参加で、皆さんがいらっしやると、出迎えた方々が明るく声をかけ、お食事の時間はもちろんですが、来場されたときから、笑顔で楽しく過ごされている姿が印象的でした。また長井地区の皆さんはパワーにあふれていてとてもお元気！その元気や明るさが、地域の方々にも愛されているこの活動に繋がっているのではないかと思います。今年度のふれあい昼食会は、長井地区にお住まいの一人暮らし高齢者を対象に、10月から3月にかけて毎月1回、開催しています。

福祉のしごとと魅力を発信!! 福祉施設 見学・体験会のご案内

『福祉のしごと☆就職相談会』が去る11月28日(水)横須賀商工会議所で開催され、市社協の会員施設が展覧しました。当日参加できなかった皆様にも、福祉の仕事を知っていただきたい!!ということで、見学・体験会を設けました。学生さん、転職を考えている方、今すぐではないけど将来福祉の仕事をしたと考えている方、どなたでも大歓迎です!

福祉施設の見学・体験会のお申し込み、詳細については市社協 地域福祉課 (TEL 821-1301) までご連絡ください!!

～就職相談会 参加施設等～

※順不同

日の出保育園、しらかばこども園、衣笠ホーム、横須賀老人ホーム、シャローム、湘南ホーム、海風学園、三浦しらとり園、清光園、衣笠病院、横須賀愛光園、横須賀椿園、清光ホーム、衣笠ろうけん、サニーヒル横須賀、ヒューマン、ゆう、いちばん星、太陽の家、横須賀ヘーメット、興寿苑、太陽の家二番館、しらかばベビーホーム、しらかば子どもの家、シャローム浦上台、ゆうあいの郷衣笠、あまね

No.	見学・体験施設種別名 見学・体験施設・事業所名	最寄駅	見学・体験会 日程
1	幼保連携型認定こども園 しらかばこども園	新大津駅	1月10日(木) 10時00分～16時00分
2	特別養護老人ホーム 湘南ホーム	横須賀中央駅 YRP野比駅 衣笠駅	1月11日(金)、16日(水)、 18日(金)、21日(月)、 24日(木)、28日(月)、 30日(水)、31日(木) 午後
3	特別養護老人ホーム 横須賀愛光園	三浦海岸駅	1月11日(金)、17日(木) 13時30分～17時00分
4	社会福祉法人ユーアイ二十一 太陽の家 (市内事業所見学)	京急久里浜駅	1月12日(土) 10時00分～12時30分
5	特別養護老人ホーム 横須賀椿園	衣笠駅	1月13日(日) 10時30分～12時30分
6	特別養護老人ホーム 横須賀老人ホーム	JR・京急 久里浜駅	1月17日(木)、20日(日) 10時30分～11時30分
7	乳児院 しらかばベビーホーム	京急久里浜駅	1月27日(日) 13時00分～14時00分

今年度で7回目 地域が開催する婚活パーティー

婚活あっせんひます

昨年は男女46名参加 8組のカップルが誕生!!

主催：久里浜地区社会福祉協議会くりはまボランティアセンター

日時：平成31年2月17日(日) 13時～15時

場所：久里浜コミュニティセンター3階 集会室

応募条件：市内在住在勤で満25歳から40歳までの心身ともに健康な独身男女

参加費：2,000円



<応募の方法>

受付期間：平成31年1月8日(火)～12日(土)13時～15時

申込み：くりはまボランティアセンターに電話(TEL046-833-4101)で

※申込みは本人および本人の親兄弟

※受付時に住所、氏名、年齢、連絡先その他、簡単なアンケートにお答え頂きます。応募条件を満たしている方には、後日「婚活招待状」をお送り致します。

第5回

あんしんセンターレポート



あんしんセンターでは横須賀市から委託を受けて、「よこすか市民後見人等運営事業」を実施しています。今回は、今年8月下旬から実施している『第9期よこすか市民後見人養成研修』について、わかりやすくお伝えしていきます。

あんしんセンター Q & A

質問 『よこすか市民後見人養成研修』って何ですか？

答え 『よこすか市民後見人』として活動をしていただくために受講していただく研修です。基礎編(6日間・20時間)、応用編(6日間・20時間)、実務研修(3～4日間)の3段階に分かれていて、基礎編からスタートして、次の段階に進む前に選考があります。受講費用は無料です。

質問 基礎編ではどんな勉強をするのですか？

答え 大きく分けて4つあります。
①成年後見制度の対象者(高齢者、知的・精神障害者)を理解する。 ②成年後見制度を理解する。
③横須賀市の福祉施策や現状を理解する。 ④市民後見人の活動を理解する。
講師は、弁護士、横須賀市内の施設関係者、行政職員、現役の市民後見人、市社協職員などです。

質問 応用編ではどんな勉強をするのですか？

答え 後見人等の実務を行なううえで知っておきたい関係制度・手続きや、被後見人や関係者との関係構築のために体得しておきたいコミュニケーション技術などを学びます。講師は、横浜家庭裁判所職員、司法書士、行政書士、社会福祉士、社会保険労務士、税理士などです。

質問 実務研修ではどんな勉強をするのですか？

答え 実際に後見人等の実務を行なっている弁護士、司法書士から、後見事務に関する書類の作成や保管について1対1で説明を受け、後見業務にも同行します。また、高齢者や障害者の施設での日常生活や、施設と後見人等との関わりについて施設職員から話を聞き、施設についても理解を深めていきます。

この研修を修了し市社協に登録後、家庭裁判所から成年後見人・保佐人・補助人(以下「後見人等」)として選任されて、後見人等としての活動が始まります。

横須賀市内在住、在勤の方であれば、基礎編と応用編は1講座だけでも聴講可能になっています。事前に市社協あんしんセンターまで「聴講希望」とご連絡をお願いします(第9期養成研修分の受付は終了しました)。

あんしんセンターでは、福祉サービス利用援助・日常的な金銭管理サービスや成年後見制度の利用に関する各種相談に応じています。また、福祉施設・事業所、町内会・自治会のほか、地域で開催される会議や研修、行事などでの出張トークも承ります。お気軽にお問合せください。

各専門職後見人団体では、申立て手続きの代行・助言・情報提供等、相談を行なっています。

- ◆成年後見センター「みまもり」(弁護士) TEL 045-315-2070 (第1～4水・金：10時～12時、13時～16時)
- ◆かなさぼ(行政書士) TEL 045-222-8628 (月～金：13時～16時)
- ◆リーガルサポート(司法書士) TEL 045-640-4345 (月～金：10時～17時)
- ◆ばあとなあ(社会福祉士) TEL 045-314-5500 (火・木：14時～17時)

※お住まいの地区の「地域包括支援センター」でも成年後見制度の相談ができます。

市社協 あんしんセンター(TEL821-3605)では成年後見制度の説明・相談を行なっています。

心臓移植のために平成30年2月に渡米していた森崎小の岡崎雫ちゃんは、米国では、心停止や、脳出血等危険な状態にもなり、緊急で手術をするなど大変でしたが、5月には移植手術が成功。元気になって、9月に無事帰国しました。

そして帰国後、検査のために少し入院しましたが、おかげさまで待ち望んでいた横須賀の自宅に帰って来ることが出来ました。



しずくちゃんおかえり!!

平成29年7月の厚生労働省での記者会見より米国での心移植を目指し募金活動を実施し、しずくちゃんは平成30年2月に渡米、5月には心移植が実現し、9月には無事に日本へ帰国することができました。

ひとえに皆さまの一つ一つの温かい気持ちの積み重ねにより、ひとりの小さな女の子の笑顔を未来へと繋ぐことができました。当初より応援していただき、誠にありがとうございました。

しずくちゃんを救う会 代表 池井 将

賛助会員のご紹介

賛助で参上!

社協活動応援団



☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。かながわ信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙を送付させていただきます。

(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)

★個人会員 一口 1000円

★団体会員 一口 5000円

*会費は年度会費(4月~3月)となっており一口数は何口でも結構です。

〒238-0041 本町2-1 総合福祉会館2階

横須賀市社会福祉協議会 総務課

TEL (821) 1301 FAX (827) 0264

E-mail shakyo@wg7.so-net.ne.jp

- ★個人 (20人)
 - 吉村久子、吉原玲子、佐々木武夫、大坪輝子、林美佐子、杉野春美、安達貞雄、樋熊教幸、樋熊美智代、泉田桂子、岩間道夫、岩間数子、飯野雄彦、佐々木勝法、佐々木優子、佐々木碧惟、飯島義信、嘉山征勝、富澤明、小峯洋子
- ★団体 (1団体)
 - 横須賀緑化造園協同組合

平成30年9月1日~11月30日
(順不同・敬称略)



『ふれあいお弁当』の終了について

~平成31年3月31日をもって終了となります~

横須賀市の事業である『ふれあいお弁当事業』は、横須賀市社会福祉協議会が受託し、平成6年から約24年間実施しています。

お弁当の調理を地域の社会福祉施設が、配食を地区社協のボランティアが担当し、ひとり暮らし高齢者等の“夕食の提供”“安否確認・見守り”と“ふれあい”を行ってまいりましたが、市の事業廃止に伴い、終了することとなりました。

・『ふれあいお弁当』の配食は、
平成31年3月31日までです。

・新規のお申込みは、
平成31年2月28日までです。

今後、高齢者の食事については、横須賀市高齢福祉課福祉サービス係、市社協地域福祉課の他、各民生委員・児童委員、地域包括支援センター等に、ご相談ください。

- 市高齢福祉課 福祉サービス係
TEL 822-8255
- 市社協地域福祉課
TEL 821-1301

長い間
ありがとう
ございました



運転ボランティア養成講座 「福祉有償運送運転者・セダン等運転者講習」

「ハンディキャブ『よこすか』」の運転ボランティアや非営利団体による移動サービスの運転者として活動するための講習会です。講習修了者には、国土交通大臣認定修了証を発行します。

一緒に運転ボランティアで活動してみませんか。

日時：平成31年2月23日(土)・24日(日)
10時～16時30分【全2日間】

場所：市立総合福祉会館5階 視聴覚研修室ほか

内容：利用者の理解や接遇・乗降介助等の対応、移動サービスの法律・制度などの講義と演習、福祉車両操作・運転実技(実車)など

定員：30人 ※先着順

参加費：無料

申込み：12月11日(火)以降に、①氏名(フリガナ)、②性別、③年齢、④住所、⑤電話番号をよこすかボランティアセンターへお知らせください。

公益社団法人 横須賀市シルバー人材センター 「第3回 文化展」

横須賀市シルバー人材センターでは、シルバー会員相互の親睦と地域社会との交流を図ることを目的に、文化展と演芸会を隔年交互に開催しております。多くの開催要望に応えて3回目目の文化展のご案内です。



※写真は平成29年2月第2回文化展会場風景です。

当日は、作業所連絡会からの作品と合わせて、会員による作品鑑賞を是非ともお楽しみください。

日時：平成31年3月9日(土) 10時～17時
3月10日(日) 10時～16時

会場：横須賀市文化会館1階展示場及び中ホール(正面入口右側)

内容：絵画・書・写真・陶芸・彫刻・手芸作品など

主催：公益社団法人横須賀市シルバー人材センター

協力：横須賀・三浦作業所連絡会

入場料：無料

※当日は公的交通手段をご利用ください。

障害者外出支援ボランティア 養成講座

日時：平成31年2月5日(火)、12日(火)、19日(火)、26日(火)、3月12日(火)、実習として3月4日(月)～8日(金)のうちの1日間【全6回】

いずれも13時30分～15時30分

場所：市立総合福祉会館ほか

内容：障害者の外出をかなえるボランティアの養成、詳しくは、よこすかボランティアセンターHP (<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>)

対象：障害者外出支援に関心があり、講座終了後にボランティアとして活動いただける方。

定員：抽選20人

参加費：無料

締切：1月18日(金)

申込み：申込書を窓口・ファクス・メールでよこすかボランティアセンターへ

問合せ：よこすかボランティアセンター

希望フェスタ

日時：平成31年2月24日(日)
13時～16時30分
※12時開場、12時30分～13時 混声合唱団「コール・アルカディア」でお迎え

場所：市立総合福祉会館5階ホール

内容：第一部
「重複障害(視覚障害・歩行障害)を負った脳外科医」～心のリハビリを楽しみながら生きる～

講演：佐藤正純氏(元横浜市立大学脳外科医緊急医療チーム長)

第二部

「学生と片マヒ患者が学んで得るもの」

ディスカッション：保健福祉大 玉垣努教授を囲んで

入場料：無料

問合せ：よこすか片マヒ希望の会

会長 妻沼祐一 TEL：825-7837

お手伝いいただけるボランティアも募集!
(問い合わせ先までご連絡ください)

中高年のためのパソコン教室

無料 体験授業&教室説明会 参加者募集!

富士通オープンカレッジ横須賀校



お問い合わせ

TEL. 046-838-0402

お気軽にお電話下さい



【主催】株式会社アド・マインド



ボランティアセンターを彩る四季「スナップ人形」
*登録ボランティア
布おもちゃグループ ポケット“製作

よこすか ボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
開 所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(土・日曜日と祝日は休み)
電 話 (821)1303 (825)0017 / FAX (824)8110
E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>
※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、
よこすかボランティアセンターが窓口です。

第4回 ボラ連 キックオフフェスタ

『交流・新たな絆と出会いを求めて!!』

『ちょっと時間がある時何かやりたいなあ～』
そんなあなたにとって、気に入っていただける
ボランティア活動とめぐりあうかもしれません。



歌って、踊って、奏でて。そして、聴いて、観て、触って。

よこすかボランティア登録団体119の団体が一同に介し、皆様をお待ちしております。

- 日 時**：平成31年3月2日(土)10時～16時(予定)
場 所：市立総合福祉会館5階ホール及び5階全フロアー
内 容：ボランティア団体の活動の紹介
・障害者団体及び次世代を担う若者の活動紹介
《歌・踊り・演奏・視覚障害者移動支援のデモ・
点字の作り方教室・布おもちゃと遊ぼう!
けん玉に挑戦等》
《パネル展示・地域作業所製作品の販売・
軽食コーナー》
《サウンドテーブルテニス体験》
(入場自由)
主 催：横須賀市ボランティア連絡協議会
後 援：横須賀市・横須賀市社会福祉協議会
問 合 せ：よこすかボランティアセンター



ボランティア大募集!!

キックオフフェスタ当日のお手伝いをさせていただきボランティアを募集します。

活 動 内 容：会場案内・チラシ配布等 **申 込 込 込 期限**：2月12日(火)まで

詳 しくは、ボランティアセンター(上記)までお問い合わせください。



羽ばたく翼、ともに築く未来

かながわ信用金庫

年金のお受け取りは「かながわ信用金庫」へ



お気軽に「相談下さい」

秘密厳守

※場所はいつでも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。12時～13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります。(一般生活費の貸付けはありません)。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です。(市内在住の方)。

【予約制】窓口の相談は混雑していますので、お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

●毎週月～金曜日

9時～11時30分・13時～16時

予約はTEL(821)1301

地域福祉課 生活福祉資金担当



住宅改造相談

ちょっとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日

10時～15時 市社協相談室

予約はTEL(823)0386

神奈川県建築士事務所協会

横須賀支部へ

受付時間 10時30分～17時

みんなで支える在宅療養シンポジウム

「穏やかな旅立ちのために」をテーマに、在宅療養・在宅看取りについて理解を深め、穏やかな人生の最期を迎えるためにどのような支援と準備が必要か考えます。

【日時】1月27日(日) 13時～16時 ※12時30分開場

【場所】ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

【内容】

◆第1部 基調講演

テーマ=終の棲家で平穏死

講師=東京都世田谷区立

特別養護老人ホーム

芦花ホーム 医師 石飛 幸三 さん



講師

◆第2部 パネルディスカッション

テーマ=平穏に旅立つための支援と準備

パネリスト=市内の在宅医、チャプレン、訪問看護師、

市役所職員

【定員】先着400人(事前申し込み)

【申し込み方法】

12月11日(火)～1月17日(木)に次のいずれかの方法で横須賀市コールセンターへ。

インターネット申込 <https://www.yokosuka-yksk.jp>

TEL 046-822-2500

FAX 046-822-2539

締め切り後は地域医療推進課へ

※入場無料、手話通訳・要約筆記あり。

【問合せ先】

横須賀市地域医療推進課 電話：046-822-4332

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)
平成30年9月1日～11月30日

山本壽美子、船橋珠枝、飯島義信、柳根岸工務店、JAよこすか葉山 虹の会、かながわ信用金庫 理事長 平松廣司、横須賀落語愛好会、柴田成海

社会福祉法人阿部睦会 共楽荘、コーアルカディア、三浦半島自然保護の会、衣笠地区ボランティアセンター、逸見群読の会、手話ダンスグループ「ゆらぎ」、木の芽会、手話サークル「逸見」、徳嶺啓子、16ミリ試写室、高城たか子、中井幸恵、中里未子、片山靖、山口成子
寄付金 10件 二〇、二六円
物品 22件

あとかき

今年の四月には平成が終わり、五月からは新しい元号になるそうです。

昭和から平成に変わる時は、小淵内閣官房長官のテレビからの発表があり、国民が素早く知ることになったのを思い出します。

その後は地名や、団体名に平成の文字が入り、平成時代の到来と言った感じがしました。そもそも西暦が世界各国で統一した年号として通用している中で、日本ではもう一つ和暦と言われた元号をずっと使用してきました。

今年から和暦が新しくなるのであれば、現代の若者たちが時代の変化を考え、複数の暦などはやめて、西暦だけにしておきたい意見が大きく出るのはないかと思いましたが、意外と受け入れるような感じでした。

難しいことを書くつもりはありませんが、日本で初めて元号が制定されたのは、飛鳥時代の「大化」となりました。この時代から天皇即位の時に元号は変わりましたが、明治以前では天皇即位以外でも政変や天災が起きた時には、凶事を排除する目的でも改元があり、国を挙げての縁起の良い事があった時にも改元した記録があります。

しかし明治元年からは「皇位の継承があった場合に限り改める」ということになりました。

そして現代に引き続いている訳ですが、なぜ世界の国々が使用している西暦を主体として簡単に明瞭にしていけないのか、不思議にも思いましたが、西暦は世界情勢を知るためにはなくてはならぬものがあり、和暦は日本古来の歴史から学んだことや日本人独特の素晴らしい生き方の継承には必要なものと思えました。今年五月の元号を期待いたします。(丁)